

令和7年度

公表

事業所における自己評価総括表

|                |                       |        |            |
|----------------|-----------------------|--------|------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービスMIXED JUICE |        |            |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年11月15日            | ～      | 令和7年12月26日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                | (回答者数) |            |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年12月1日             | ～      | 令和7年12月26日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                | 7名     | (回答者数) 7名  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年1月31日             |        |            |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                    | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等   |
|---|---|--|--|
| 1 | 十分な広さがあり、身体を動かせるエリアと座って過ごすエリアがそれぞれ確保されている。                                    | 自由時間には身体を動かせる遊びをしたり、活動でも運動系の活動を多めに取り入れ、固有覚を満たして落ち着いて過ごせるよう室内配置をしている。   | 引き続き安全に遊べるよう、見守り体制やエリア管理を徹底する。                           |
| 2 | 季節に合ったイベントやお出かけなど、さまざまな体験を行うことができる。同じ活動であっても、手法やルールに変化をつけるなどして、別の体験をすることができる。 | イベントやお出かけの体験を通し、どのようなアプローチで児童の特性やできること、課題などにアプローチできるか考慮した上で活動設定を行っている。 | 児童の発達状況や興味の変化に合わせ、毎年行うイベントでも進行方法や目的をその都度変え、楽しく取り組めるよう促す。 |
| 3 | 人員の入れ替わりが少なく、安定してスタッフを配置できている。  | 残業なしへの取り組みやスタッフへの待遇向上、居住住宅特別居住手当(補助金)の申請による給与引き上げなど、働きやすい環境を整えている。     | 引き続きNO残業での勤務や、有給休暇の取得の推進等、さらに働きやすい職場となるよう環境整備を行う。        |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                            |
|---|--|----------------------------------|---|
| 1 | 地域との交流が少ない。                                | 社会福祉協議会や地域の児童発達支援センターなどとの連携が少ない。 | 児童発達支援センターや北区で開催する研修に参加するなど、少しずつ地域とのつながりを作っていく。 |
| 2 | 保護者同士の交流を促す場になっていない。                       | 保護者会などの交流の場を設けていない。              | 現時点では事業所としてもそこまで必要性を感じていない。要望があった際には開催を検討する。    |
| 3 |  |                                  |   |